



▲平成9年に制定された「男女共同参画都市宣言」

「止」とされたが、平成23年度予算にどのように影響したのか。
市長 事業は従前通り推進していく。予算への影響はないが、効率的に事務を進める事により、職員人件費の抑制に努めていく。
質問 昨年12月17日に「第3次男女共同参画基本計画」が閣議決定され、「男女共同参画都市宣言等」に対し、積極的に取り組むよう奨励する」とされているが、市はどのように対応するのか。
市長 平成23年度に策定予定の男女共

同参画基本計画に盛り込み、実効性のある事業の推進を図っていく。
質問 市の男女共同参画推進事業に対する認識を改めて伺う。
市長 同事業は極めて重要な事業と認識している。
質問 第五次長期総合計画では同事業はどのように位置づけられるのか。
市長 主要施策として実施計画事業に位置づけていく予定である。
ワーク・ライフ・バランス労使宣言について
質問 市が市内企業のWLBに取り込む手法として「WLB労使宣言」を締結する自治体が増えつつあるが、羽村市としても前向きに検討してはいるか。
市長 WLBを推進することで、職員の仕事に対する意欲の向上、職場の活性化を図ることができると考えている。職員組合と協議し、締結に向けて検討していく。
○その他、フィルム・コミッション事業の設立に向けての状況を質問しました。
*WLB:ワーク・ライフ・バランス
*FC:フィルム・コミッション

市政を問う

平成23年第1回羽村市議会(定例会)を、3月1日から3月22日までの22日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての施政方針演説がありました。3月1日、2日、3日には、17人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。
※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
大塚あかね	2	鈴木 拓也	8
小宮 國暉	2	門間 淑子	9
瀧島 愛夫	4	中根 康雄	10
橋本 弘山	4	馳平 耕三	10
濱中 俊男	5	中原 雅之	11
露木 諒一	6	山崎 陽一	12
川崎 明夫	6	市川 英子	12
西川美佐保	7	水野 義裕	13
石居 尚郎	8		

おおつか
大塚 あかね 議員
(民主党)



- ◇男女共同参画社会の推進について
- ◇WLB労使宣言について
- ◇FC事業についてさらに伺う

男女共同参画社会の推進について
羽村市は平成9年に男女共同参画都市宣言を行い、平成19年には男女共同参画推進条例を制定し、取り組みを

推進してきた。事業の推進は市民と行政が一体となって取り組むべき重要課題である。
質問 今年の「事業仕分け」では「廃

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
(新しい風)



- ◇新たな財源の確保を
- ◇文化財保護、防火対策について
- ◇高齢者医療の充実に向けて

新たな財源の確保を
市税収入が減少する中、長い間懸案となっていた事業費を捻出し、市民のまちづくりへの参加意識を高めるため、

新たな財源として「住民参加型市場公募債」の発行についての考えを伺う。
質問 導入している自治体の数は。
市長 平成21年度の時点で8自治体と

なっている。

質問 導入目的として、①「根がらみ前水田」の保全事業、②駅周辺の自転車駐車場立体化等の構築整備、③市が推進するエコ事業等を提案するがいかがか。
市長 元利金償還が比較的短期なことや、金融機関の手数料問題など課題があるため、先行自治体との比較検討も含め、今後の研究課題としたい。
文化財保護、防火対策について
毎年1月26日は「文化財防火デー」として、全国で、この時期に文化財防

火運動が実施されている。羽村市では、今年は玉川神社が会場となり、地元町内会、消防団、福生消防署などの連携協力による防火演習が実施された。市内には市の歴史や文化を理解するため、に欠くことのできない神社仏閣等の有形文化財が多数所在している。これらは、市民共有の財産として地域と行政が連携して維持、保存していくことが重要である。
質問 市は防火設備の充実に向けて、具体的支援、助成をすべきと考えるがいかがか。

教育長 指定文化財の保存・防火設備の整備等、対象経費の2分の1の額を限度として「羽村市文化財保存事業費補助金」制度を設けている。今後、消火・通報設備が不十分な場合は、自動火災報知機の設置等、所有者・管理者との協議を行い進めていきたい。
○その他、高齢者医療の充実(「高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の公費助成」「後発医薬品利用促進」)について質問しました。



▲玉川神社